



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 丸文株式会社

コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲村 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 蟹澤 輝彦

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	157,915	△9.4	993	△38.1	790	△36.6	△100	—
24年3月期第3四半期	174,393	8.6	1,605	2.2	1,246	17.2	499	98.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △148百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△3.86	—
24年3月期第3四半期	19.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	105,750		35,739			30.7
24年3月期	121,045		36,295			27.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 32,477百万円 24年3月期 33,247百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	5.00	—	7.00	円 銭	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	円 銭	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	円 銭	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	214,000	△11.8	3,150	10.8	3,050	28.4	1,400	37.7	53.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	28,051,200 株	24年3月期	28,051,200 株
25年3月期3Q	1,915,055 株	24年3月期	1,914,847 株
25年3月期3Q	26,136,347 株	24年3月期3Q	26,136,353 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要で緩やかな持ち直しの動きが見られた一方で、欧州債務危機の長期化や中国などの成長鈍化により、景気は弱含みの状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCの需要拡大が継続したものの、デジタルカメラが減速し、TVやゲーム機も低迷が続きました。半導体製造装置やFA機器も設備投資の回復が遅れ、また半導体・電子部品市場では、DRAMや液晶パネルの価格が軟調に推移しました。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比9.4%減の157,915百万円となりました。営業利益は前年同期比38.1%減の993百万円、経常利益は、前年同期比36.6%減の790百万円となりました。四半期純損益は、希望退職者募集に伴う退職特別加算金等344百万円および仕入先への和解金283百万円を特別損失に計上した結果、100百万円の純損失(前年同期は499百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (デバイス事業)

デバイス事業は、携帯電話モジュールやスマートフォン向けの半導体・電子部品が好調に推移し、車載向け半導体も売上が増加する一方、PCや民生機器向けのメモリーIC及び液晶パネルが減少しました。その結果、売上高は前年同期比10.9%減の137,305百万円、セグメント利益は前年同期比47.0%減の641百万円となりました。

#### (システム事業)

システム事業は、試験計測機器が設備投資回復の遅れにより需要が減少したものの、科学機器でパワー半導体製造用の薄膜装置の売上が好調に推移し、医用機器も画像診断装置の需要が増加しました。その結果、売上高は前年同期比1.9%増の20,609百万円となりましたが、セグメント利益は売上総利益率の低下により前年同期比10.7%減の359百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は94,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,785百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が5,814百万円増加した一方で、現金及び預金が5,157百万円、受取手形および売掛金が16,724百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は10,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ490百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が127百万円減少した一方で、繰延税金資産が512百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、105,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,295百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は51,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,346百万円減少いたしました。これは主に支払手形および買掛金が3,159百万円、短期借入金が11,150百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は18,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が254百万円、退職給付引当金が114百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、70,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,740百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は35,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円減少いたしました。これは主に少数株主持分が214百万円増加した一方で、利益剰余金が425百万円、繰延ヘッジ損益が295百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は30.7%(前連結会計年度末は27.5%)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

丸文情報通信株式会社は、平成24年9月20日をもって清算終了したため、第2四半期連結会計期間に連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,123	12,966
受取手形及び売掛金	66,611	49,887
有価証券	—	500
商品及び製品	22,666	28,481
仕掛品	51	195
繰延税金資産	1,198	1,325
その他	1,934	1,478
貸倒引当金	△31	△65
流動資産合計	110,554	94,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,143	4,039
減価償却累計額	△2,663	△2,636
建物及び構築物（純額）	1,480	1,402
機械装置及び運搬具	26	26
減価償却累計額	△21	△22
機械装置及び運搬具（純額）	5	4
工具、器具及び備品	2,261	2,125
減価償却累計額	△1,859	△1,702
工具、器具及び備品（純額）	402	423
土地	2,466	2,466
リース資産	26	37
減価償却累計額	△10	△9
リース資産（純額）	16	28
建設仮勘定	1	10
有形固定資産合計	4,372	4,334
無形固定資産		
のれん	7	5
その他	314	398
無形固定資産合計	322	404
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468	1,341
長期貸付金	5	4
繰延税金資産	1,575	2,087
投資不動産	3,076	3,059
減価償却累計額	△2,012	△2,036
投資不動産（純額）	1,064	1,022
その他	1,683	1,786
投資その他の資産合計	5,796	6,242
固定資産合計	10,491	10,981
資産合計	121,045	105,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,506	39,346
短期借入金	18,781	7,631
1年内返済予定の長期借入金	1,534	1,534
1年内償還予定の社債	48	46
未払法人税等	326	146
繰延税金負債	0	—
賞与引当金	718	356
その他	2,246	2,755
流動負債合計	66,163	51,817
固定負債		
社債	21	—
長期借入金	16,072	16,046
退職給付引当金	1,602	1,487
役員退職慰労引当金	492	237
資産除去債務	124	116
その他	273	304
固定負債合計	18,586	18,193
負債合計	84,750	70,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	23,579	23,153
自己株式	△1,630	△1,630
株主資本合計	34,517	34,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	105
繰延ヘッジ損益	△64	△360
為替換算調整勘定	△1,381	△1,359
その他の包括利益累計額合計	△1,269	△1,613
少数株主持分	3,047	3,261
純資産合計	36,295	35,739
負債純資産合計	121,045	105,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	174,393	157,915
売上原価	161,560	145,864
売上総利益	12,832	12,050
販売費及び一般管理費	11,227	11,057
営業利益	1,605	993
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	26	26
持分法による投資利益	43	61
投資不動産賃貸料	144	132
雑収入	146	196
営業外収益合計	365	426
営業外費用		
支払利息	402	265
為替差損	8	137
雑損失	312	225
営業外費用合計	723	628
経常利益	1,246	790
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	78	91
投資不動産売却益	—	2
特別利益合計	79	94
特別損失		
固定資産除売却損	34	66
投資有価証券評価損	3	19
和解金	—	283
退職特別加算金等	—	344
その他	0	—
特別損失合計	38	713
税金等調整前四半期純利益	1,287	171
法人税等	547	△17
少数株主損益調整前四半期純利益	739	188
少数株主利益	240	289
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	499	△100

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	739	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	△75
繰延ヘッジ損益	22	△295
為替換算調整勘定	△421	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	4
その他の包括利益合計	△579	△337
四半期包括利益	159	△148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87	△444
少数株主に係る四半期包括利益	72	296

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,287	171
減価償却費	392	394
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△358	△361
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△76	△254
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4	△115
受取利息及び受取配当金	△31	△36
支払利息	402	265
為替差損益 (△は益)	156	△152
持分法による投資損益 (△は益)	△43	△61
投資不動産売却損益 (△は益)	—	△2
投資不動産賃貸料	△144	△132
投資有価証券売却損益 (△は益)	△78	△91
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	19
固定資産除売却損益 (△は益)	33	66
和解金	—	283
退職特別加算金等	—	344
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,515	16,735
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,432	△5,952
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,420	△3,163
その他	157	490
小計	△5,957	8,479
利息及び配当金の受取額	43	50
利息の支払額	△302	△272
法人税等の支払額	△462	△601
法人税等の還付額	42	33
和解金の支払額	—	△283
退職特別加算金等の支払額	—	△293
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,636	7,112
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40	—
定期預金の払戻による収入	84	200
有形固定資産の取得による支出	△114	△195
有形固定資産の売却による収入	6	1
無形固定資産の取得による支出	△42	△148
投資有価証券の取得による支出	△45	△157
投資有価証券の売却による収入	88	191
投資不動産の売却による収入	—	10
投資不動産の賃貸による収入	132	132
事業譲受による支出	△5,777	—
資産除去債務の履行による支出	△37	△106
その他	△101	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,848	△107

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,036	△11,154
長期借入金の返済による支出	△25	△25
社債の償還による支出	△24	△24
配当金の支払額	△272	△337
少数株主への配当金の支払額	△82	△81
その他	△3	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,627	△11,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,100	△4,457
現金及び現金同等物の期首残高	16,078	17,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,978	13,466

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	154,169	20,224	174,393	174,393	—	174,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	74	75	75	△75	—
計	154,170	20,298	174,469	174,469	△75	174,393
セグメント利益	1,210	402	1,612	1,612	△7	1,605

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	137,305	20,609	157,915	157,915	—	157,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	165	165	165	△165	—
計	137,305	20,774	158,080	158,080	△165	157,915
セグメント利益	641	359	1,000	1,000	△6	993

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。